

▶ S-KYT研修を実施して ◀

福岡県大牟田市消防団

1. はじめに

本市は、福岡県の南部に位置し、北にみやま市、南に熊本県荒尾市、東に熊本県玉名郡南関町、西は有明海に面し、2市1町に隣接し九州の中心に位置しています。主な観光としては「おおむた『大蛇山』まつり」が毎年7月に行なわれ、約30万人の方が見物に見えられます。さらに、大牟田市公式キャラクター「ジャー坊」は「2018年ゆるキャラグランプリ」で準グランプリを獲得し、大牟田の市民から愛されるキャラクターとなっています。

また、市を縦に貫くJR（鹿児島本線）、や西鉄電車（天神大牟田線）、さらに東側には九州新幹線、西側には有明海沿岸道路（無料自動車専用道）が走るなど交通の利便性の高い市です。面積は81.55平方キロメートルで、自然豊かで海や山を有し、漁業や農業も盛んです。

2. 大牟田市消防団の概要

大牟田市消防団は平成30年4月1日現在、団本部と21分団（女性団員を含む）664名の団員で構成されており、消防ポンプ車13台、小型動力ポンプ積載車28台を配置しています。

平成11年に発足した女性分団は応急手当指導やデジタル紙芝居による火災予防啓発などで活躍しています。

3. S-KYT研修会の経緯

大牟田市では、平成26年度に実施した「S-KYT研修」が好評であり、その後、公務災害も発生していませんでした。今回は、平成29年度及び平成30年度に訓練時や現場活動時に公務災害が数件発生したことや当時受講した幹部の入れ替え等があったこと、さらに火災件数の減少

に伴う現場経験不足による事故の未然防止を図るため、消防団員等公務災害補償等共済基金のご協力のもと「S-KYT研修」を実施したものです。

4. S-KYT研修を実践して

平成31年2月3日（日）、大牟田市消防本部において、副分団長以上の幹部団員を対象にS-KYT研修3時間コースを開催しました。

当日は、幹部団員40名が当該研修に参加し、4名のS-KYT指導員の方からDVDの上映や実技を交えた講義をいただきました。講義では、指差し呼称の重要性を認識するため「椅子押し込みヨシ！」と一つ一つの動作に指差し呼称を行ないました。経験している団員は率先して行い初めて受講した団員にアドバイスする場面も見られました。さらにイラストシートを活用した実技では、さまざまな視点からの意見が活発に交わされ、分団内で実践できるようチーム内の意見をメモしている団員も見受けられました。

今回は、幹部団員を対象としたため、分団責任者として所属団員に「怪我をさせない」「無事に家に帰す」ということが重要であることが再認識できたという意見がでました。公務災害“ゼロ”を目指して団長より分団長以上の幹部会議のはじめには研修内で活用された3つのスローガンを指差し呼称し、平常時からの意識改革が行なわれ、非常に有意義な研修となりました。

5. 今後の取組

今後は、訓練開始前の健康チェックや現場活動での指差し呼称の徹底を行い、公務災害を“ゼロ”にするという雰囲気作りを行なっていき



たいと思います。また、「3時間コースでは物足りない」という声も聞かれたため、受講対象団員を拡充し4時間コースの受講検討も行ないた

たいと思います。結びにこのたびの研修会開催にご協力いただきました講師の皆様、消防基金の方々に心より感謝申し上げます。